

きょうの紙面



愛川の外国籍住民 多言語消防団員に

21
外国籍の住民比率が県内最多の愛川町は、災害時に外国語で住民らに情報を伝えたり、避難を呼びかけたりする「多言語機能別消防団」を発足させた。

熱戦この一枚



4・5
障害者雇用、AIで促進 16
月給1位の知事に改革迫る 2
新企画・働く人たちの物語 11
ディズニークルーズ展開へ 10
総合 2・3 読者 15
スポーツ 4・5・7・9 地域 16~18
経済・商況 10~12 社会 19~21
TV解説・小説 14

論説・特報 13

「地球沸騰」食料生産も不安定に



追う
気候変動が「地球沸騰」と言われるまでに深刻化してきた。大規模な自然災害、水不足や干ばつで食料生産も不安定に。

神奈川新聞

THE KANAGAWA

2024年[令和6年]

7月10日[水]

仏滅

©神奈川新聞社 29392号
〒231-8445 横浜市中区太田町2-23
総合受付 045-227-1111 [1ヵ月3500円・1部140円]

生前対策から相続税申告まで相続の専門家集団としてサポートします。

全15拠点(駅近)で安心の無料相談!

相続 25,000円以上 | 相続税申告 8,500円以上

ランドマーク税理士法人グループ

お問い合わせ フリーダイヤル 0120-48-7271

きょうの天気

☐のち ☐一時・時々

南西の風後やや強く、くもり屋前まで時々晴れ
最小湿度50%、海上最大風速12m/s=横浜

	6時	12	18	24	最高気温	最低気温	降水確率	洗濯指数 [横浜]
横浜					34	27	20	
横須賀					33	26	20	
鎌倉					31	26	20	[よく乾く]
相模原					35	24	20	熱中症予防情報 [横浜]
厚木					34	25	20	
小田原					34	25	20	[厳重警戒]
東京					35	26	20	

週間予報

下段太字：最高気温 / 細字：最低気温

	きょう	あす	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)
横浜	34/27	31/26	28/25	31/25	32/26	32/26	31/26
降水確率	20%	50%	60%	50%	50%	50%	40%
東京	35/26	32/25	28/24	31/24	32/25	32/25	31/25

各地の天気はテレビ面をご覧ください。

防衛費1300億円使い残し

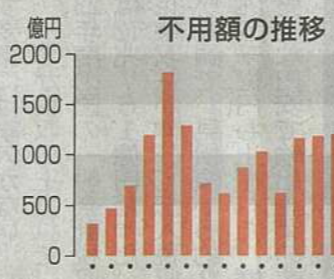
23年度、執行手続き遅れ

政府が2023年度予算に計上した防衛費6兆8219億円のうち1300億円程度を使い残して不用額となったことが9日、分かった。防衛省発足後の07年度以降では、東日本大震災の特殊要因で約1800億円の不用額が出た11年度に次ぐ2番目の規模。一部では予算の増額に対して業務が追い付かず、執行の手続きが間に合わなかったとみられる。防衛力強化のための増税の議論にも影響がありそうだ。

関連記事2面に

増税議論に影響も

政府は防衛力強化に向け、23〜27年度の5年間で総額43兆円程度の予算を投じる方針。財源を賄うため、増税も実施する考えだが、多額を使い残している現状が改善されなければ、予算査定の際に批判が生じ、



防衛増税の実施時期などを巡り今年末にかけての税制改正の議論が難航する可能性もある。防衛費増額の初年度となった23年度予算の防衛費は米軍再編経費などを含め6兆8219億円で、それまでの過去最大を更新した。しかし複数の関係者によると、増額に伴い契約や事業の実施が想定以上に増え、年度内に必要な支出を精査し切れなかったという。7月下旬にも決定する23年度の一般会計決算で不用額を計上する見込みで、執行し切れなかった一部は24年度予算への繰り越しも検討している。

防衛装備庁の、装備品が割で支出するを

勝利

が通常の予算とされる。防衛費20年度まで3年00億円を越

内局幹部ら週内処分

潜水手当巡る疑惑も浮上

防衛省・自衛隊の特定秘密の不正運用や「背広組」が中心の内局(内局)の幹部によるパワハラ問題で、同省が、週内に内局の審議官級を含む関係者を懲戒処分にする方針を固めたことが9日、複数の政府関係者への取材で分かった。

海自では隊員が潜水手当を不正に受け取っていた疑いが新たに浮上。処分対象は、この手当受給と自衛隊施設などでの飲食に関する行為の計4項目と判明した。相次ぐ不正疑惑の発覚に防衛省・自衛隊への信頼が大きく揺らぐ事態になっている。

既に調査に着手していると明らかにした。「事実関係に基づき適切に対応していく」と述べ、近く結果を公表するとした。

の活動に必要な情報が流出しな

防衛省・自衛隊の不正疑惑

- 特定秘密の不正運用
- 川崎重工が裏金捻出(潜水艦乗員に金品提供か)
- 内局で幹部がパワハラ
- 海自隊員が潜水手当不正受給

防衛省関係者によると、海自の複数の隊員は、潜水作業に従事した隊員に支給される手当を、実際には潜水してないのに不正に受け取った疑いがある。総額は数千万円に上るとい

防衛省は今年4月、海自の護衛艦「いなづま」と、陸自北部方面隊(札幌市)の部隊で特定秘密の不適切な取り扱いがあったとして、幹部自衛官計5人を停職や

海上自衛隊で新たに浮上した潜水手当の不正受給疑惑は定期的に実施される防衛監察で発覚し、海自は2022年9月から実態解明に向けた調査を進めていた。防衛省関係者によると、複数の海自隊員による不正は数年に及び、額は数千万円に上るとみられる。海自

0月まで潜るも間に

不正受給 数千万円か海

は近く調査結果を公表する予定で、処分は数十人規模になる見通し。防衛省職員は給与や手当を定めた政令では、任務や訓練のための器具を着用するなどして潜水した場合、深さに応じて手当を支払うと規定。深い海での作業を可能とする「飽和潜水」で45



海自は他にも、潜水艦の修理契約に絡み、川崎重工が裏金を捻出した問題も抱えている。少なくとも十数億円にも上るとみられる

海自は他にも、潜水艦の修理契約に絡み、川崎重工が裏金を捻出した問題も抱えている。少なくとも十数億円にも上るとみられる。海自ではいづま以外の複数の護衛艦でも不正運用が常態化していた疑いがあり、酒井海幕長が引責辞任の意向を示している。防衛省は今年4月、海自の護衛艦「いなづま」と、陸自北部方面隊(札幌市)の部隊で特定秘密の不適切な取り扱いがあったとして、幹部自衛官計5人を停職や減給の懲戒処分にした。防衛省はその後、防衛省・自衛隊全体で特定秘密の運用状況を調査。その結果、陸海空3自衛隊の運用を担う統合幕僚監部などでも無資格の隊員が特定秘密を扱ったケースが確認された。海自ではいづま以外の複数の護衛艦でも不正運用が常態化していた疑いがあり、酒井海幕長が引責辞任の意向を示している。